

# 高校国語において主体的に評論文の読解力を向上させていくことのできる生徒の育成

——教えない授業における学習課題の工夫を通して——

特別研修員 国語 菊地 将史（高等学校教諭）

## 教師の願い

評論文を自分たちの力で読み解こうとはしない受動的な生徒が多いため、生徒には主体的に評論文を深く読解してほしい。

## 手立て 学習課題の工夫

○説明する必然性のある対象を設定し、本文の内容を説明するという課題を設ける

○「読解の手引」の作成と改訂（生徒が主体的な読解の拠り所にできるよう、1年を通じて読解方法に関する気づきを振り返り時に蓄積）

教えない授業

タイトルと末尾から筆者の主張を捉えるという方法が有効だったな。「読解の手引」に加えておこう！

難解な表現を言い換えたり、例示したり、内容を再構成したりすると、自分たちの力で評論文を深く読み解けるぞ！

## 【単元の流れ】

教材名「身体、この遠きもの」

### 第1時

班ごとに本文を読解・要約

前回作成した「読解の手引」とおりに、まずタイトルに着目してみよう

身体は時間的な現象だぞ

自分と身体の関係は可塑的だと要約しよう



### 第2時

本文の内容をスライドにまとめ、小学校5年生という対象を想定して分かりやすく説明

#### ①スライド作成

「身体はイメージだから、自分と身体の関係は変化する」という結論を最初に示そう！

5年生にも分かるように、漢字練習を例に身体も記憶することを説明しよう！



#### ②他班への発表

#### ③スライドの改善

#### ④振り返り

読みの甘さへの気づき

さらなる読みの深まり

## 目指す生徒像

## 主体的に評論文の読解力を向上させていくことのできる生徒

### 成果

- 本文の内容を説明するという課題を設けたことで、生徒が主体的に評論文の読解力を向上させることができた。
- 「読解の手引」の作成と改訂を通して、生徒が評論文の効果的な読み方を自分たちで考え、整理することができた。「読解の手引」は生徒による主体的な読解の拠り所となった。

### 課題

- 今後は、更に主体的な評論文の読解力の向上を実現するために、生徒が自ら学習課題を設定する機会を設けたい。